

平 27 年 度 地 域 発 元 気 づ くり 支 援 金 事 業 総 括 書

事業名	スポーツ活動を通じて四賀地区の活性化を図る事業
事業主体 (連絡先)	四賀元気プロジェクト 松本市会田 1001-1 代表 丸山則行 問合せ：0263 (64) 2147 事務局：小口
事業区分	主：その他 地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,346,651 円 (うち支援金：537,000 円)

事業内容

○四賀サイクリングツアーの実施

昨年に続き2回目の参加者は24名。四賀をスタート、ゴールとして、筑北、麻績、大岡、生坂村、安曇野市をコースとして開催。秋の自然と風景を満喫。おもてなし(地産のきのこ料理)も好評であった。

○虚空蔵山米かつぎマラソンの実施

4年振りに再開した大会。参加92名。12km、標高差650mのコースで米(男子=10kg、女子=5kg)を背負って競った。地元では「会田富士」と呼ばれる虚空蔵山(1,136m)は山岳修験場であった場所で岩がゴツゴツしたコース。山頂からはアルプスも望め好評であった。おもてなし(地産のきのこ料理)も好評であった。



【サイクリング・マラソン】

【目標・ねらい】

- ① 四賀地区への関心度アップ
- ② 地域の住民の理解と力の結集
- ③ 再来者の増加
- ④ この地域を元気にしたい!

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

イベントに対する地域の関心は大いに高まったものと思われる。コースの沿道には住民が立ち、応援の言葉を選手一人ひとりにかけてくださるなど、地域全体がイベント一色に染まった。特に米を担いで山登りマラソンという大会は珍しく、テレビ、新聞のメディアにも取り上げられ感心をひいた。「復活」ということも後押ししたと思う。次年度からの参加者の増加、協力者の増加に期待がかかる。また、イベントスタッフとして地域内の各種団体の協力を仰ぐことができたことは大きな収穫であった。

※自己評価【A】

【理由】

参加者アンケートを実施した結果。満足度はかなりのもので成功と言えた。スタッフ側も十分な体制をとることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

既に、28年度に「虚空蔵山米かつぎマラソン」の開催を10月に決定。早めに募集に着手し27年度の大会よりも多くの参加者を集めたいと考えている。地域にこのイベントが長きに渡って継続できるよう地盤固めに力を注いでゆきたい。そのためには、より多くの協力者、地域住民への浸透を図るべく動きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある